

あさひやま どうぶつえんだより

園内で観察できる野鳥②

キツツキの仲間

だい 135 ごう

じょうぶで、とがったクチバシで木をつつき、木の皮や幹のすきまにいる虫をエサにするキツツキの仲間は、木に穴をあけて巣やねぐらにしているよ。一年中園内で見られる「留鳥」だよ。

※オスは後頭部あたりに少しだけ赤い部分がある

エゾコゲラ

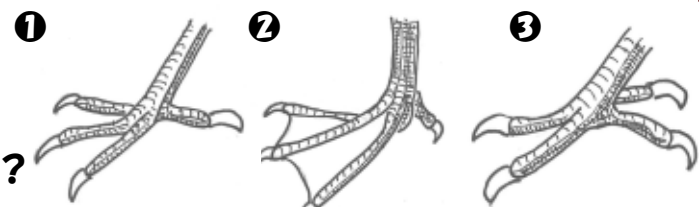
※オスは後頭部が赤い



体長15cm。スズメぐらいの大きさの小さなキツツキ。木の皮に似た羽の模様なので見つけづらい。鳴き声をたよりに探してみよう。

もんだい

木の幹にタテにとまることができるキツツキのあし指はどれ？

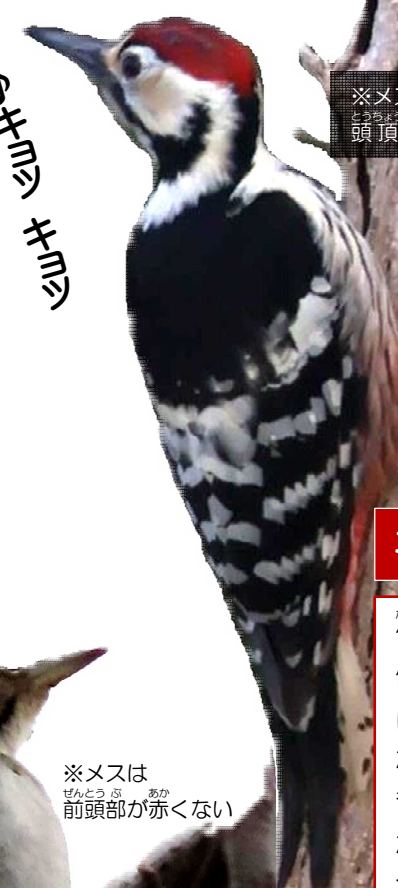


こたえ

こたえは③。前側に2本、後ろ側に2本、「X」の形をしているよ。木の幹にタテにとまるときに、しっかりと木の皮をつかむことができるようになっているよ。①はスズメなど一般的な山野の鳥の指。木の枝をしっかりとつかむことができる指だよ。②はカモなどの水鳥。水かきがついているよ。

夏鳥＝春に日本より南の地域から渡ってきて日本で繁殖し、秋には南の地域に戻って冬を越す鳥

アカキツツキ



※メスは頭頂部が赤くない

※オスは頭頂部全体が赤い

エゾオオアカゲラ

体長28cm。アカゲラに似ているけど、胸から腹にかけて黒いスジのような模様があるのが特徴。背中側はアカゲラのような細長い白い斑がなくて、アカゲラより体も、木をたたく音も大きいよ。

この5種類のほか、体長17.5cmほどの【アリスイ】という夏鳥のキツツキもいるよ。茶色くて木に同化して見つけづらいよ。

ヤマゲラ

体長29.5cm。胸から腹が白く、背中側がオリーブ色のキツツキで、北海道の固有種（本州にはいないよ）。葉の中に入ると見つけづらいけど、人の笑い声のような鳴き声をたよりに探してみよう。

アカキツツキ



クマゲラ

体長45.5cm。全身が黒く、クチバシは黄色。キツツキの仲間では一番大きく、北海道レッドリスト2017では準絶滅危惧種（Vu）で絶滅の危機が増大している種だよ。なかなか見られないけど、園内では年に数回観察されているよ。

キツツキの体のひみつ

●木をつついても脳しんとうはおきない
キツツキは脳が小さくコンパクトに頭蓋骨の中に入っているから、脳しんとうの心配はないのではないかとされているよ。
●固い尾羽で体を支えるよ
木の幹にタテにとまるときには、固い尾羽を支えにしてとまるよ。写真で紹介している5種類のキツツキの写真をみて。みんな、木の幹に尾羽をくっつけているよ。

